

LINK-J シンポジウム

3rd MEDTEC
INNOVATION
symposium and pitch

コロナが変えた世界をどう発展させるか
～医療のデジタルトランスフォーメーション～
メドテック・イノベーションシンポジウム&ピッチ

日時 2020/11/13(金) 13:00～18:30(予定)

会場 ●東京会場：日本橋ライフサイエンスハブ
(〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング8階(COREDO室町3))
●大阪会場：ライフサイエンスハブウエスト
(〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町4-1-3 御堂筋三井ビルディング4階)
●オンライン会場：オンライン配信・オンライン展示会

主催 一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

共催 株式会社日本医療機器開発機構(JOMDD)、MedVenture Partners 株式会社、
US-Japan Medtech Frontiers

後援 文部科学省、厚生労働省、経済産業省、東京都(名刺交換会は後援の対象外)、
一般社団法人日本医療機器産業連合会

協力 一般社団法人日本バイオデザイン学会、
国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ、
独立行政法人中小企業基盤整備機構、大阪商工会議所



文部科学省



ひとくらし、
みらいのために



経済産業省



東京都



医機連



Osaka-univ
X-innovation
Committee for Health and Medical



Be a Great Small.
中小機構



The Osaka Chamber of Commerce and Industry
大阪商工会議所

Program

第3回となるメドテック・イノベーションシンポジウム&ピッチ。今年は「医療におけるデジタル化、医療ビッグデータ、テクノロジーにより変容する産業と医療の変革」等について、医療イノベーションの第一線で活躍する研究者等からの講演とパネルディスカッションを予定しております。また、医療機器や医療サービスを提供するスタートアップ企業が行う「メドテックイノベーションピッチ」と、「オンライン展示会」のプログラムもございます。様々な形で皆様にご参加いただけることを心待ちにしております。

13:00-13:05 主催者挨拶

場所：大阪会場

澤 芳樹

LINK-J 副理事長／大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科 教授

13:05-13:10 来賓挨拶

江崎 禎英

内閣府 大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）

13:10-14:10 基調講演

場所：東京会場

宮田 裕章

慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授

14:10-14:20 休憩

14:20-14:50 講演 大企業の取組

場所：東京会場

**医療課題解決のための社会実装
～オープンプラットフォームによる共創**

松葉 香子

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 執行役員 アカデミック本部長 兼 エジソン・ソリューション本部長

14:50-15:20 講演 大企業の取組

場所：大阪会場

「hinotori™ サージカルロボットシステム」による手術のDx

浅野 薫

株式会社メディカロイド 代表取締役社長

15:20-15:30 休憩

※講演では質疑応答の時間を設けておりませんので、講演者に質問がある場合は、QRコードよりアプリをダウンロードし、パネルディスカッションが始まる前までに、質問を投稿してください。



※開催後アンケートにご協力をお願いいたします。



15:30-16:30

パネルディスカッション

場所：東京会場・大阪会場

モデレーター

鈴木 寛

東京大学公共政策大学院、慶應義塾大学政策・メディア研究科教授

パネリスト

澤 芳樹

LINK-J 副理事長／
大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科 教授

宮田 裕章

慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授

松葉 香子

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 執行役員
アカデミック本部長 兼 エジソン・ソリューション本部長

浅野 薫

株式会社メディカロイド 代表取締役社長

内田 毅彦

株式会社日本医療機器開発機構 代表取締役 CEO

16:30-16:50

休憩／名刺交換会

16:50-18:25

メドテックイノベーションピッチ

日本発革新的な医療機器や医療サービス等の誕生を目指す チーム 4社

AI Proteomics

WONG SING YING aiwell 株式会社 東京工業大学特別研究員、aiwell
AI プロテオミクス協働研究拠点研究員



クライオ電顕を用いた構造ベース創薬研究による新たな創薬 アプローチ

中井 基樹 株式会社キュライオ 代表取締役社長 CEO



新たなテクノロジーを導入し安心できる未来型急性期医療を 創造する

中田 孝明 株式会社 Smart119 代表取締役



MR 技術を駆使した最先端 3D リハビリテーションシステム 「リハまる」

杉山 崇 株式会社テクリコ 代表取締役



出場者

審査員

内田 毅彦 株式会社日本医療機器開発機構 代表取締役 CEO

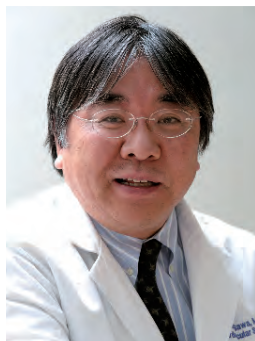
池野 文昭 MedVenture Partners 株式会社 代表取締役社長

Kirk Zeller US-Japan Medtech Frontiers, Board member

長谷川宏之 三菱 UFJ キャピタル株式会社 執行役員

高宮 慎一 株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー

開会挨拶・パネリスト



澤 芳樹 LINK-J 副理事長 /
大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科
教授

1980年大阪大学医学部第一外科入局。1989～1992年ドイツMax-Planck研究所心臓生理学部門、心臓外科部門に留学。2006年より大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科主任教授(現職)。2015年～2017年同大学医学系研究科研究科長、医学部長などを歴任、2015年～日本再生医療学会理事長、2019年～日本胸部外科学会理事長兼任、現在に至る。

来賓挨拶



江崎 禎英 内閣府 大臣官房審議官 (科学技術・イノベーション担当)

1989年に東京大学教養学部国際関係論分科を卒業し、通商産業省(現・経済産業省)入省。通商、金融、IT政策のほか、大蔵省で金融制度改革、内閣官房で個人情報保護法の立案に携わり、英国留学後EU(欧州委員会)に勤務。その後、ものづくり政策、外国人労働者問題、エネルギー政策を担当し、岐阜県への出向を経て2012年から経産省、内閣官房、厚労省にて健康・医療分野に携わり、2020年から現職。

基調講演・パネリスト



宮田 裕章 慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授

1978年生まれ 慶應義塾大学 医学部教授
2003年東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了。同分野保健学博士(論文)。早稲田大学人間科学学術院助手、東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座助教を経て、2009年4月東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座 准教授、2014年4月同教授(2015年5月より非常勤)、2015年5月より慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授。

講演・パネリスト



松葉 香子 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社執行役員
アカデミック本部長 兼 エジソン・ソリューション本部長

米国にて病院経営改善、大学病院CEO補佐室など業務に従事したのち、GEヘルスケア・ジャパン(株) ヘルスケアIT事業本部にて医療IT製品企画、戦略事業開発などをリード。2015年より同事業本部GMとして画像診断ナショナルデータベース構築研究にも参画。2018年よりアカデミック本部長として大学病院および学会との協働推進。本年7月よりエジソン・ソリューション本部長を兼務、プレジジョン・ヘルスの実現を目指す。

講演・パネリスト



浅野 薫 株式会社メディカロイド 代表取締役社長

1983年大阪大学大学院卒業。1987年シスメックスの前身・東亜医用電子株式会社に入社後、2009年執行役員 中央研究所長などを経て、2018年より取締役専務執行役員LSビジネスユニットCOO兼 CTO(現職)。CTOとしてシスメックスの研究開発をリードする傍ら、医療用ロボットの開発を手がける(株)メディカロイド社長を兼任。

パネルディスカッションモデレーター



鈴木 寛 東京大学公共政策大学院、 慶應義塾大学政策・メディア研究科 教授

東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科教授、東京大学法学部卒。元文部科学副大臣、前文部科学大臣補佐官。現在は大阪大学招聘教授(医学部、工学部)、千葉大学医学部客員教授、東京大学薬学部非常勤講師、神奈川県立保健福祉大学理事なども兼任している。

パネリスト・ピッチコンテスト審査員



内田 毅彦 株式会社日本医療機器開発機構 (JOMDD) 代表取締役 CEO

内科・循環器科専門医。ハーバード公衆衛生大学院・ハーバード経営大学院修了。日本人として初めて米国食品医薬局医療機器審査官を務める。外資系医療機器メーカー勤務や米国シリコンバレーで医療機器スタートアップ複数社との協業経験も有し、医療機器開発のスペシャリスト。現在は医療製品のインキュベーターであるJOMDDの代表として、多くの医療イノベーション事業化に携わっている。2018年より大阪大学招聘教授。厚生労働省や日本医療研究開発機構等、公的機関の審査員や班会議構成員なども多数兼務している。

<主な委員・役職等>

日本医療研究開発機構AMED 革新的先端研究開発支援事業インキュベータータイプ (LEAP) 課題評価委員。厚生労働省 医療系ベンチャー振興推進会議構成員、他。

ピッチコンテスト審査員



池野 文昭 MedVenture Partners 株式会社 取締役 /
創業者 チーフメディカルオフィサー

自治医科大学卒業。2001年からスタンフォード大学循環器科での研究を開始し、米国医療機器ベンチャーの研究開発、動物実験、臨床試験等に関与する。医療機器分野での豊富なアドバイザー経験を有し、日米の医療事情に精通している。医療機器における日米規制当局のプロジェクトにも参画し、国境を超えた医療機器エコシステムの確立に尽力している。

スタンフォード大学では、研究と平行し、14年から、Stanford Biodesign Advisory Facultyとして、医療機器分野の起業家養成講座で教鞭をとっており、日本版Biodesignの設立にも深く関与。日本にもシリコンバレー型の医療機器エコシステムを確立すべく、精力的に活動している。



Kirk Zeller Board Member, US Japan Medtech Frontiers
Founder, Silicon Prairie Center
Partner, Nichibe Medtech Advisors, LLC
Board Member, Co-Founder, MedMarket Access, LLC

Kirk Zeller, DBA is a medical device entrepreneur and founder of the Silicon Prairie Center, a unique entrepreneur live and work community which incubates capital efficient start-ups. Kirk's career as well as his masters and doctorate research have focused on medical device start-ups and Kirk is currently co-founder of several companies including two incubated at the Silicon Prairie Center. Kirk started his career as a heart valve sales rep in Japan and has lived, worked, and studied in the US, Europe, and Asia.



長谷川 宏之 三菱UFJキャピタル株式会社 執行役員

北海道大学薬学研究科修士課程修了。第一製薬(株)(現第一三共(株))を経て、(株)UFJキャピタル(現三菱UFJキャピタル(株))に入社。現在、執行役員ライフサイエンス部長。カムイファーマ(株)、Chordia Therapeutics(株)、(株)Veritas In Silico、(株)ガイアバイオメディシン社外取締役、京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構・産学連携フェロー。



高宮 慎一 グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー

コンシューマ、ヘルスケア領域のベンチャー投資を担当。2018年『Forbes 日本で最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング1位』。東京大学経済学部卒、ハーバード経営大学院MBA。

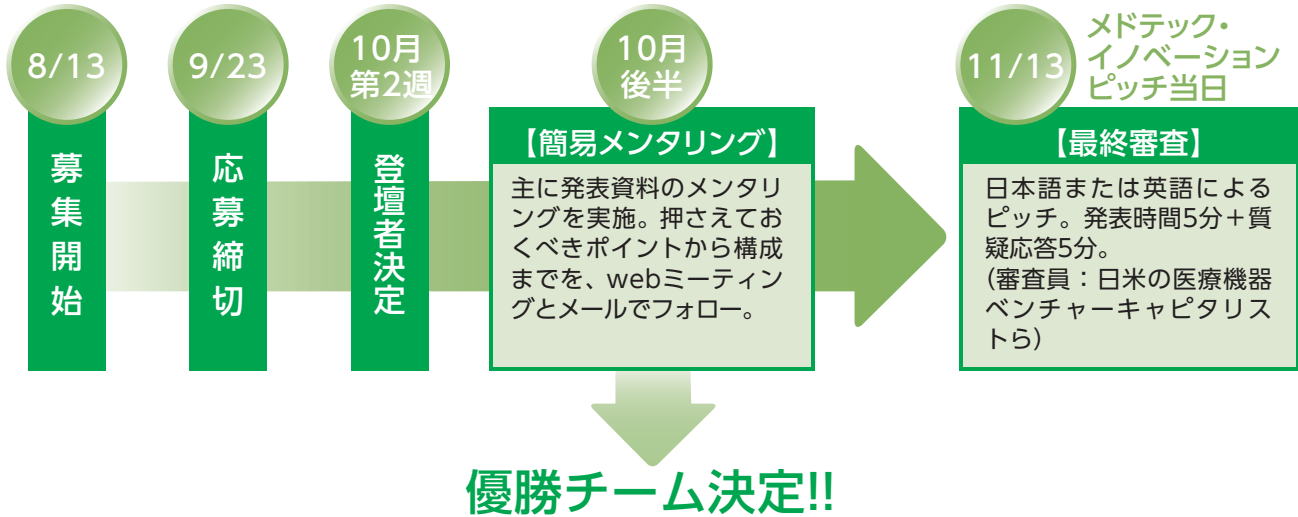
投資先には社外取締役としてハンズオンで支援し、実績にはIPOにアイスタイル、オークファン、カヤック、ピクスタ、メルカリ、ランサーズ、M&Aにしまうまプリントシステム、ナナビ、クービック、アクティブな投資先にビーバー、タイマーズ、リブルー、ミラティブ、ファストドクター、グラシアなどがある。

ピッチコンテスト

応募対象

医療機器、デジタルヘルス、ヘルスケアサービス、その他医療・介護領域におけるテクノロジーに関するアイデア・技術・製品・事業(特許出願が無いアイデアの状態でも応募可能)を有し、その技術・製品・事業に関するプレゼンが可能な、企業、チーム、人物(学生可)

募集から当日までの流れ



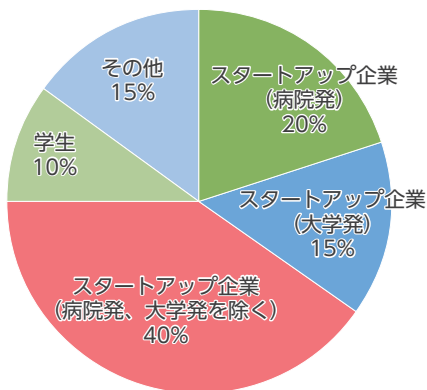
表彰・賞品
右記の①～②の中から優勝チームが選択

- ① 米国シリコンバレーのベンチャーキャピタル・インキュベーター・投資家らの訪問を中心とした海外派遣プログラム(シリコンバレーツアー3泊5日)参加のための渡航費(優勝チーム2名分)
- ② 最大一億円までJOMDDが事業化費用・海外展開支援費用として出資または開発費補助

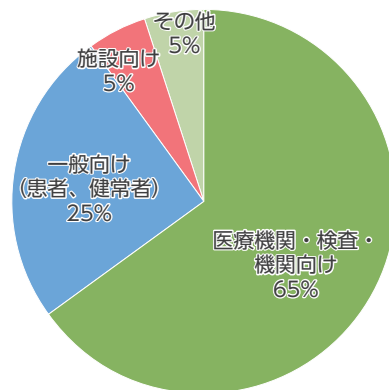
応募のあったチーム

今年は、医療従事者の負担軽減を目的とする機器やサービスに多数ご応募いただきました。また、研究開発を支援するための製品など、医療機器だけでなく幅広い医療系技術をご提案いただきました。

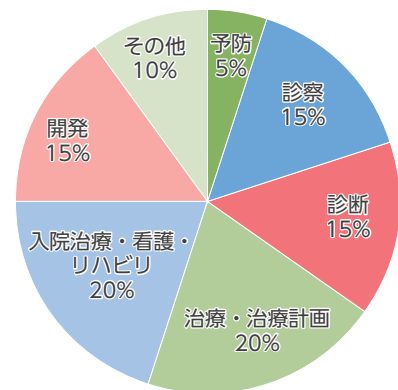
応募チーム



応募案件 (対象別)



応募案件 (領域別)



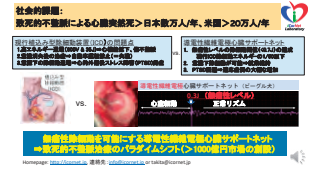
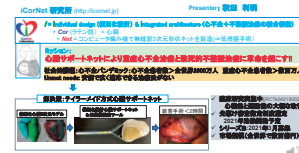
出展企業・団体紹介

企業・団体名 株式会社 iCorNet 研究所

重症心不全と致死的不整脈に対する画期的治療法である心臓サポートネット治療の研究・開発と製造を行うアカデミア発ベンチャー企業（名古屋大学ベンチャー企業 038号）。先駆け審査指定制度の選定を受け、医師主導治験を 2021 年度に予定している。

<http://icor-net.jp>

企業・製品紹介 心不全患者毎に設計製造された心臓サポートネットは心臓に装着後直ちに心機能を改善します。導電性繊維を組込んだネットでは致死的不整脈を従来の 2%の低エネルギーで除細動を可能し、無痛性除細動治療に道を開きます。

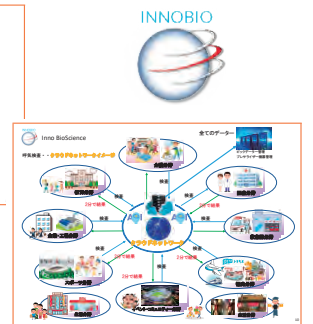


企業・団体名 Inno BioScience 株式会社

肝疾患（NASH/ 肝硬変）に対する細胞治療薬及びアンメットメディカルニーズの高い医療機器の国内導入及び開発を目的にスタートアップした会社。

<http://www.inno-bioscience.co.jp/>

企業・製品紹介 無線 LAN とモバイルサポート機能を搭載した IoT デバイスで AI アルゴリズムによるバイオマーカーと COVID-19 の特性を分析し陽性 / 陰性の検査結果を 2 分以内で判定。



企業・団体名 株式会社クアトロメディカルテクノロジーズ

医療の現場には、たくさんの埋もれている課題があります。私達クアトロメディカルテクノロジーズは、医療現場の本質的なニーズを見つけ出し、その解決策となる医療機器を開発しています。私達の革新的な製品で世界の医療を発展させ、人類社会への貢献を目指します

<https://www.quattromedical.com/jp/>

企業・製品紹介 内頸静脈穿刺時の成功率を高めるために開発した超音波ガイド下穿刺補助器具は、患者の皮膚に補助器具を貼り付ける新しい方法で、低コストかつ直感的な操作により安全で成功率の高い簡易な穿刺を可能とします。



企業・団体名 株式会社サイトパスファインダー

弊社は、遺伝子機能解析ツール開発を通じて、新しい医薬品開発や治療法開発に貢献できる技術開発、研究開発を進めています。基幹技術である固相トランスフェクションを応用した製品開発をビジネスモデルとし、研究開発のお役に立てることを目指しています。

<https://www.cytopathfinder.com>

企業・製品紹介 弊社は産総研技術移転ベンチャーで、siRNA, miRNA, プラスミド DNA などの核酸を培養細胞に導入するための培養容器底面にトランスフェクション複合体を固相したプレート、及び固相プレートを応用した製品を提供しています。

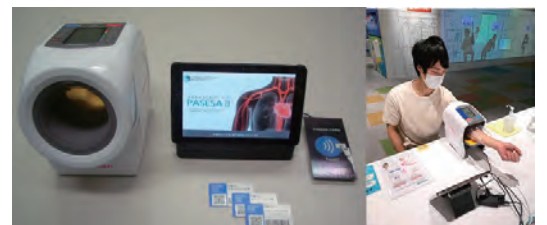


企業・団体名 株式会社志成データム

独自開発の脈波解析アルゴリズムを基に、社会的課題である循環器系疾患の医療精度向上と医療費削減に貢献を目指すデバイスメーカーです。国内外上場企業 (CYBERDYNE、亜洲光学) と連携して事業を展開しています。第二種医療機器製造販売業。

<http://www.shisei-d.co.jp/>

企業・製品紹介 血圧計と同じ簡便さで心血管機能指標 API, AVI の測定を実現した医療機器「全自動型医用電子血圧計 PASESA」は医療施設、職場、公共施設などで生活習慣病の早期予防・診断・治療に威力を発揮します。



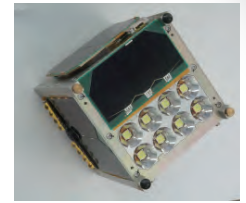
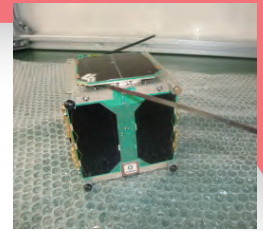
企業・団体名 株式会社スペースス (仮称)

株式会社スペースス

当社は、保有する極小型衛星 Cubesat の開発技術を基に、Cubesat によるコンパクトな宇宙環境に近い暴露空間を提供し、先端医療技術開発や新物質創造等支援、及び低軌道衛星通信網の新規構築と医療情報向けを主とする衛星通信サービスを提供する。

<http://www1.aut.ac.jp/~nishio-lab/index.html>

企業・製品紹介 Cubesat (1 辺 10cm 立方体が基本サイズ) は、既存衛星に比べて製造から維持まで圧倒的に低価格である。低軌道衛星通信網は低価格に地上通信を補充し、AI・IoT を根幹とするグローバル通信を実現する。



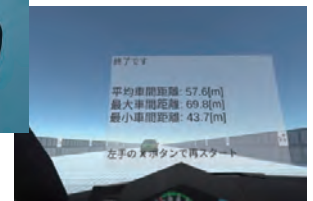
企業・団体名 株式会社 do.Sukasu

doSukasu

人の個性は脳で決まる！ do.Sukasu は脳の情報処理特性を透かしそれを個性と認めることで各個人が社会で活躍することができる「優秀ではなく個性に寄り添う社会」の実現を目指している企業です。

<https://www.dosukasu.co/>

企業・製品紹介 デジタルヘルスケアにおけるオープンイノベーションの一環として立ち上げたスタートアップ。本展では、脳の情報処理特性を考える上で特に重要となる視空間認知特性を把握・提示、すなわち「透かす」プロトタイプ「VR de.Sukasu」のデモを行う。



企業・団体名 株式会社トラステック愛知

商号：株式会社トラステック愛知
所在地：愛知県名古屋市中川区万町 1803 番地
設立：平成 16 年 11 月 25 日
資本金：1525 万円 (資本準備金 525 万)
代表取締役：辻 武彦

事業内容：
・デジタル形保護計測装置 (電源監視装置) 製造・販売
・設備保守 / 管理サービス
・二次電池充放装置の点検校正
・除菌装置製造・販売
従業員数：12 名



<http://tri-n.co.jp/>

企業・製品紹介 ◇除菌装置◆除菌装置
・Weraser 計 (けい) 空間除菌の司令塔 二酸化塩素ガスを高精度 0.01ppm の精度で測定
・Weraser 罎 (しづく) 安定化二酸化塩素水噴霧器 移動がしやすいワゴン型除菌装置。10μm の粒子で噴霧
・Weraser 奏 (かなで) ワゴン型除菌装置 計と無線通信を行い二酸化塩素ガス濃度 005ppm から 20ppm に制御

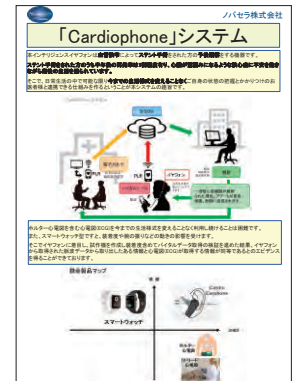
企業・団体名 ノバセラ株式会社



ノバセラ株式会社は、2016 年 8 月にスタートした再生医療を主な事業とするベンチャーです。本業以外に医療ビッグデータを用いた事業があります。その医療ビッグデータの収集方法に高機能イヤフォンを用いて、患者様や使用者の背板情報をクラウドに上げて解析するビジネスを推進いたします。

<https://novumcella.com/>

企業・製品紹介 Cardiophone は、高音質のイヤフォンで元ソニーの技術者が開発しました。これにセンサー技術を取り入れて脈波、体温、酸素分圧濃度等を測定することを可能としました。使用者は上質の音楽を楽しみながら健康管理ができるという優れものが弊社の製品です。



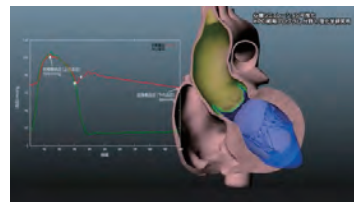
出展企業・団体紹介

企業・団体名 PIA 株式会社

当社は第一種医療機器製造販売業を保有し、コンタクトレンズ、次亜塩素酸水、CBD 製品等を販売しています。現在、心臓シミュレータという技術を活用し、従来にはない新たなプログラム医療機器の開発・事業化に取り組んでいます。

<http://www.pia-corp.co.jp/>

企業・製品紹介 心臓シミュレータとは、スーパーコンピュータの演算能力を活用し、臨床データを元に個人の心臓を忠実に再現する技術。その上で、CRT や先天性心疾患等を対象としたシミュレーションや医療教育コンテンツを研究開発中。



企業・団体名 株式会社フジキン

超精密ながれ(流体)制御システムのトップランナーとして特殊バルブ機器類だけでなく、陸・海・空・宇宙の多彩なフィールドで社会に貢献、ライフサイエンス分野では先端技術を使ったポータブル超音波診断装置や医用画像遠隔読影システム等の事業を推進しています。

<https://www.fujikin.co.jp/lifescience/medical/>

企業・製品紹介 超音波診断装置 MUS シリーズは「いつでも・どこでも使用できる」をコンセプトにしたポータブルエコーです。プローブを弊社指定のパソコンやタブレット機器 (Windows & Android) に接続するだけで画像診断が出来るので、在宅診療や往診でもご使用頂けます。



企業・団体名 株式会社ベアーメディック

創業時は CITIZEN 時計の協力工場として腕時計部品を生産していました。その後、メディカル事業部を発足し縫合材料の製造販売を開始。現在は縫合材料だけでなくチタン製・ステンレス製、プラスチック製などの医療機器を製造販売しております。

<http://www.bearmedic.co.jp/>

企業・製品紹介 当社は国産医療機器メーカーとして約 40 年の実績がございます。特に形成外科、整形外科、脳神経外科の領域で使用する縫合材料やチタン製の骨接合材料などを製造販売しております。



企業・団体名 マイキャン・テクノロジーズ株式会社

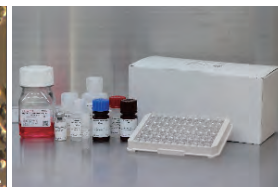
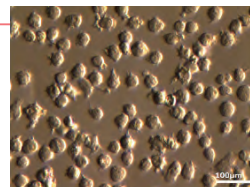
iPS 細胞等から研究用特殊血球細胞を作成し、新型コロナ感染症や免疫系疾患の研究ツールとしてご提供しています。再生医療技術を用いた細胞デザイン力でニーズにマッチした細胞を作り上げ、製薬研究、機能性製品開発研究 (食品、化粧品、化成品等) を進展させるお手伝いをいたします。

<https://www.micantechologies.com/home-2>

企業・製品紹介

■ Mylc 細胞 (未成熟樹状細胞様) および評価キット
 感染症研究用 (新型コロナやデング感染研究など)
 免疫炎症研究用 (創薬研究、食品等評価など)
 安全性評価用 (皮膚感作性動物試験代替アッセイなど)

■ Mpv 細胞
 マラリア研究用
 その他バイオ研究用



MICAN

企業・団体名 株式会社モンキャラメル

心肺蘇生講習用教材開発・販売
 緊急時における患者情報の伝達に関わる資機材・ソフトウェアの開発・販売

qqtag.jp 119aed.jp

企業・製品紹介 救急タグは、救急搬送時にカードおよび IC チップを用いて救急隊あるいはパイスタンダーに情報を伝達するタグ類です。

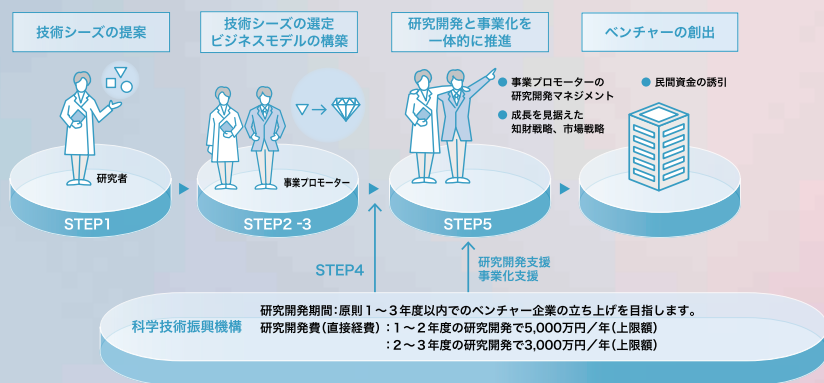


STARTを通じて、 JOMDDが事業化を支援します。

STARTとは？

科学技術振興機構(JST)による事業で、
大学等の研究者と事業プロモーターをつなぎ、
研究開発と事業育成を支援するプログラムです。

- 研究開発期間 原則1～3年度
- 研究開発費 (直接経費) 研究開発期間により
3,000万円/年～5,000万円/年
(いずれも上限額)
- 1次申請締切 毎年4月頃



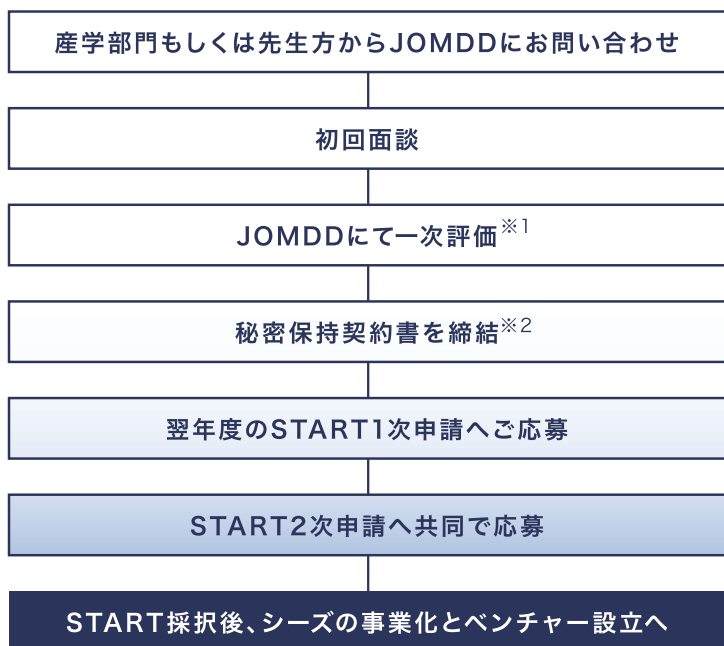
図：JSTのWebサイトより

事業化したい研究成果はありませんか？

JSTのSTART事業の事業プロモーターであるJOMDDが、医療機器の事業化の知識と国内外の豊富なネットワークにより
事業化に向けた競争的研究費の獲得と、その先の成長をバックアップします。

JOMDDへのSTARTに関するお問い合わせ

医療機器、デジタルヘルス、再生医療、ヘルスケアサービス等の事業化相談を受け付けています。



※1 概ね1-2か月で翌年度STARTで推薦可能かご連絡。場合によっては、再度面談や、秘密保持契約書を締結の上、追加情報をご共有いただけます。
※2 START推薦可の場合。双方で事業化検討や研究を進めます。

起業をご検討されていない研究も
お気軽にご連絡ください

お問い合わせ期限：
2020年11月末まで



下記情報をご記載の上、
メールまたはQRコードよりご連絡ください。

①所属 ②お名前 ③メールアドレス

Mail:info@jomdd.com

JOMDD「START事業プロモーター」担当宛

STARTにおけるJOMDDの役割は、研究開発、事業育成、ベンチャー創業に必要な各種プロセスにおいて研究者の先生方を支援することです。そのため、設立するベンチャーへの出資をお約束するものではありません。

オープンイノベーションの きっかけはここにある



一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番9号日本橋アイティビル2階
TEL 03-3241-4911 FAX 03-3241-3757 (月~金 9:00-17:00) www.link-j.org


LINK-J
Life Science Innovation Network Japan